

国際民間教育 機関加盟校に

軽井沢の国際高校

北佐久郡軽井沢町の私立全寮制国際高校「インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢」(ISAK)がアイザック・小林りん代表理事)は1日、教育を通じて国際感覚に優れた人材を育てる民間教育機関「ユニテッド・ワールド・カレッジ(UWC)」(本部・ロンドン)の加盟校になることが決まったと発表した。日本での加盟は初。これに伴い、校名を「UWC ISAK Japan」に変更する方針だ。

ISAKやUWC日本協会(東京)によると、UWCは1962年に設立。これまでに英国、カナダ、シンガポール、イタリア、米国などの16校が加盟し、ISAKは17校目。加盟校では、世界の多くの大学で受験・入学資格として認められている「国際バカロレア」のカリキュラムに沿って授業が行われている。

UWCは150余の国と地

域に委員会があり、各国で志願者を募集し選抜、16校のいずれかに生徒を派遣している。ISAKは加盟校となることで、さらに多様な生徒を受け入れられると判断。国際感覚豊かな教員の確保や、UWC奨学金制度を生かした米

増加なども期待できるとする。

10月31日にUWC国際理事会から承認された。校名変更の時期は未定。ISAKは2014年8月に開校し、現在39の国・地域の155人が学ぶ。記念式典を来年9月に開く計画だ。

国の提携大学への進学機会の